

自分に誠実に行動することについて考えてみましょう。

- ・友達との約束を守れたときはお互いにいい気持ちになったのでこれからも正直でいたい。
- ・嘘をついてしまい、自分の心が苦しかったことがあったので自分の心に正直でいたい。

6年

自分に誠実に

(A 正直、誠実)

実態

- 素直で前向きに考えようとする。
- 学級の8割が「道徳が好き」と回答。
- 嘘をついた経験がある。
- 損得勘定で行動しようとする。

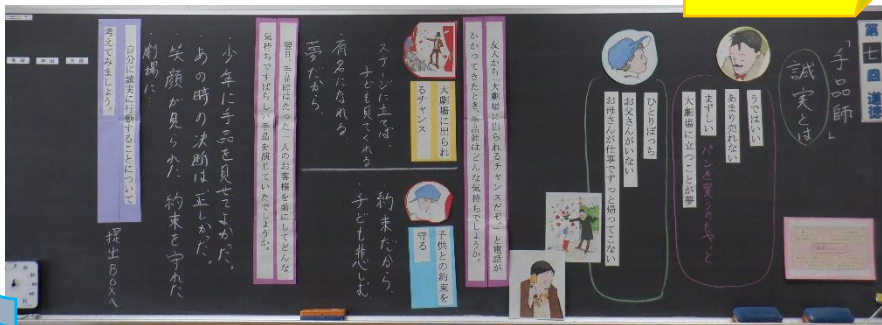
ねらい

★手品師の行動について話し合うことを通して、自分の良心に従って生きることの大切さに気付く、誠実に明るい心で生きようとする心情を育てる。

手品師

工夫

- ・教材を提示する工夫。
→アンケートや教具の活用。
- ・表現活動・話し合いの工夫
→ICT 機器を活用し、道徳的価値を深める。
- ・思考の流れが見える。
→構造的な板書。



翌日、手品師はたった一人のお客様を前にしてどんな気持ちですばらしい手品を演じていたでしょうか。

友人から電話がかかってきたとき、手品師はどんな気持ちでしょうか。

喜んでくれて嬉しい。

約束を守ることは大切。

大劇場に行かずとも
お客さんがいる。

男の子が悲しむ。

夢を叶えるチャンスだ。



協議会を通して学んだこと

- ・教材提示…画面で見せるねらいを考え、教材の世界観に入り込む工夫が大切である。
- ・ICT 機器…教材提示以外、ペーパーレスで授業を進めることができる。また個にあった入力方法ができることが分かった。ICT 機器を活用しての話し合いも行えたが、画面で児童の考えを共有するだけでなく机間指導で個別の支援を行えるとさらによい。
- ・終末……教師の実体験による説話により、「手品師みたいな立派な判断ではないが。」という思いをもちながらも、自分に誠実に行動することについてより自分事として考えを深められた。
- ・その他……友達との意見交換の時間により考えを深められた。

教師の問い返しや「付け足しはありますか。」という発問があるとより効果的だった。